

SDGs プロジェクト

宇宙プロジェクト



七夕の願い事を人工衛星に搭載して宇宙へ飛ばす「GOTO 宇宙プロジェクト※」に参加！
ここを起点に「宇宙×SDGs」「持続可能な宇宙開発」の探究へと発展中！

昨年の「竹×SDGs」の七夕企画に続き、今年は「GOTO 宇宙プロジェクト」(主催・日本青年会議所
／共催・一般社団法人七夕協会・一般社団法人リーマンサットスペースズ／協力・宇宙航空研究開発機構[JAXA]・一般社団法人宇宙カルチャー推
進協会・株式会社ビクセン／後援・内閣府宇宙開発戦略推進事務局)に参加する七夕企画を実施しました。

専用の短冊に、光ヶ丘独自のアイデアで SDGs のゴールアイコンを貼り付け、そのゴール
に関連する「未来を変える願い事」を書く企画として全校生徒に参加を呼びかけたところ、
400 枚を超える短冊が集まりました。

この短冊は、巨大な「宇宙を描いたパネル」に貼り付け、校内2か所に掲示しています。
今後、1枚ずつすべてを画像データ化し運営団体に送り届け、ロケットが宇宙へ向けて
発射される日を待っています。

また、この活動を起点として「人工衛星を活用した気候変動の観測」などのほか、「宇宙ゴミ(スペース・デブリ)問題」や「宇宙の平和利用」などについても考える契機となりました。

そして、「**宇宙×SDGs**」をテーマに「持続可能な宇宙開発」のあり方について探究し発信していくプロジェクトが進行中です。

自分たちが暮らす地球を「大地(アース)」としてから「惑星(プラネット)」としてとらえ、「惑星規模の未来の担い手」になることをめざします。

「グローバル・シチズンシップ」から「グローバル・プラネタリアン・シチズンシップ」へ。

[※]「GO TO 宇宙プロジェクト」は、公益社団法人日本青年会議所が主催する、持続可能な社会の実現のために「宇宙の安全保障」をテーマに情報を提供し、日本の宇宙開発の裾野を広げることを目的としたプロジェクトです。



願いごとを 流れ星にして叶えよう!

- 1 裏面のロケットに
お願いごとを記入
する。



- 2 お願いごとを
携帯などのカメラで
撮影する。



- 3 #GOTO宇宙プロジェクト
とハッシュタグを
付けて SNS に
投稿する。



- 4 リーマンサット・プロジェクトが
作った人工衛星に、お願いごとの
データを搭載。
宇宙に打ち上げ。



- 5 人工衛星から
メッセージを
発信しながら
地球を回る。



- 6 人工衛星が
大気圏に突入して
流れ星に。



願いが叶いますように。

Go To 宇宙プロジェクト
Go to Space Projects
家族や友達と考えるみんなの安心、安全



Go To 宇宙プロジェクト Go to Space Projects

家族や友達と考えるみんなの安心、安全

宇宙開発と聞いて、何を想像しますか? ロケット? 人工衛星? 宇宙飛行士?
どれも縁遠い話に聞こえるかもしれませんが、
実はあなたの生活に密接に関連しているものが多いんです。

「GO TO 宇宙プロジェクト」は、宇宙やみんなの安心安全について考える参加型プロジェクトです。

綺麗な星だね。

ぼくたちの
地球だよ。



2021.6.1(火) - 8.15(日) オンライン開催

1 宇宙ポストへ願いを

皆様から集めたお願いごとを人工衛星で宇宙に届け、
“流れ星”にするプロジェクトです。
Web サイトでは皆様のお願いごとを募集しています。
お気軽にご参加ください!

2 宇宙に近づく Web School

宇宙をテーマとした活動を行う関係者の皆様を先生と
して招き、授業を動画で配信しています。
国際宇宙ステーションのヴァーチャルツアーや、
天体観測のススメなど、見どころ満載です!

3 スペースジュニアコンテスト 2021

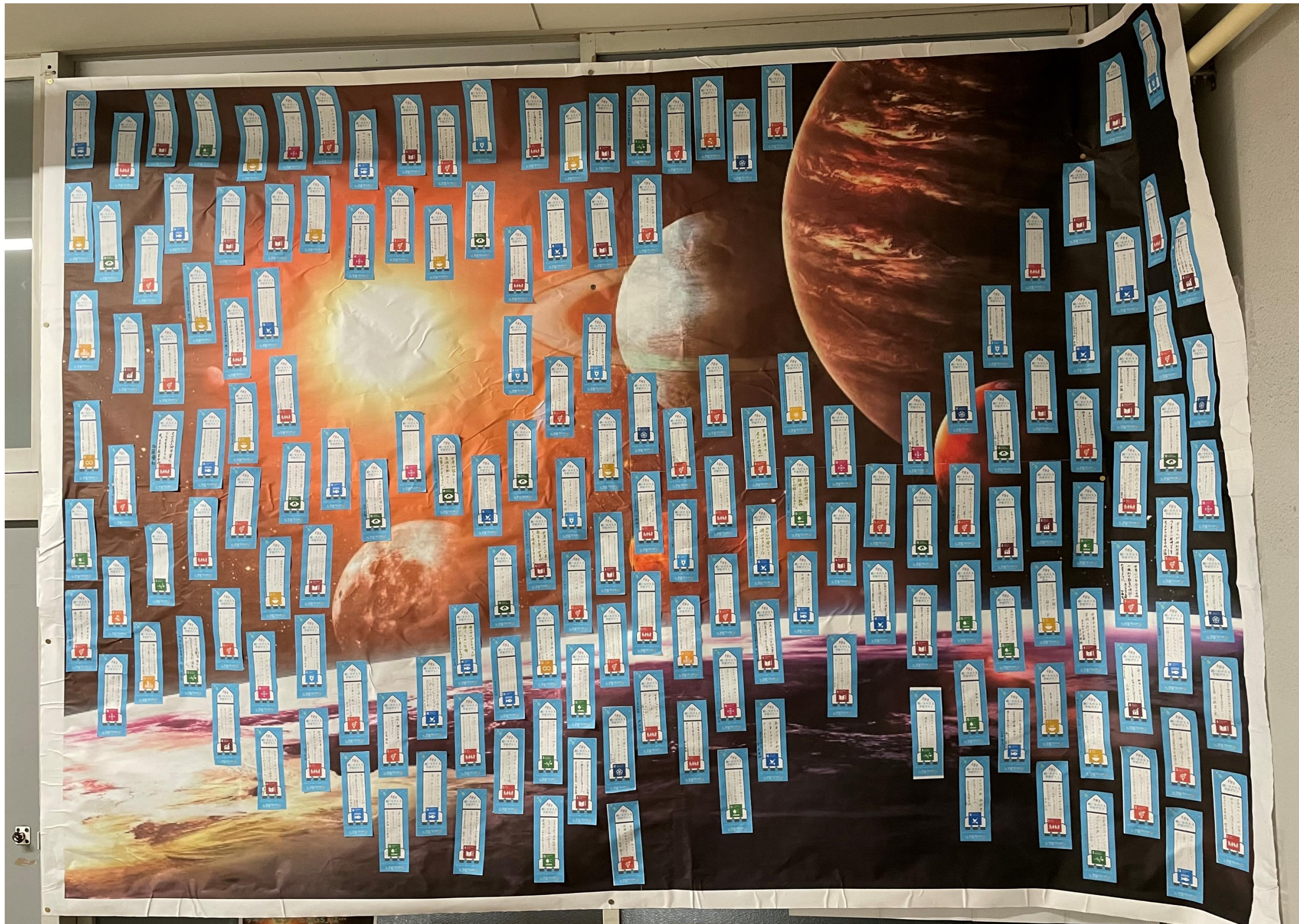
～みんなの安心・安全を守る衛星を考えよう～
「夢の人工衛星」をテーマに、こんな人工衛星が
あったらいいなというアイデアを募集します。
学生部門(チームでも可)と親子部門があります。

JCI
公益社団法人 日本青年会議所

主催 公益社団法人日本青年会議所
共催 一般社団法人七夕協会 / 一般社団法人リーマンサットスペースズ
協力 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA) / 一般社団法人宇宙カルチャー推進協会 / 株式会社ビクセン
後援 内閣府宇宙開発戦略推進事務局

詳しくはこちらをCheck!
<https://rymansat.com/gotospace>





「持続可能な宇宙開発」などをテーマとした“新しいゴール” (非公式) 「調和のとれた宇宙をみんなで」を提案！

現在、人工衛星などの機器を通じた宇宙開発は、スマートフォンをはじめ私たちの生活に多大な利便性もたらしたり、気候変動や水循環などの地球環境の観測などで活躍したりしていますが、運用が終了するなどして放置されたままの人工衛星や部品類などの「スペース・デブリ(宇宙ゴミ)」が問題となっています。また、近年では宇宙を舞台にした軍事開発や「宇宙安全保障」が新たな国際問題となることへの懸念も高まっています。その一方では、宇宙空間でのエネルギー開発に向けた研究や惑星探査のほか宇宙旅行などへの期待が近年高まりをみせるなど、「宇宙開発」を取り巻く環境変化はめまぐるしさを増しており、同時に宇宙領域をめぐる諸課題も徐々に表面化してきました。

こうした現状をふまえて生徒たちは、現行のSDGsには含まれていない「持続可能な宇宙開発・宇宙利用」をテーマとした「XX 番目(エックス番目)」のゴールとして「調和のとれた宇宙をみんなで」を提案することにしました。

一部の Web サイトなどにみられる「18 番目のゴール」ではなく「XX 番目のゴール」と表現したのは、「SDGs はあくまでも 17 のゴールで完成しており、その 17 のゴールが相互に関連しながら世界の課題解決をめざしているものである」ことを生徒たちが重視したことによります。

SDGs が「Global Goals」であるならば、「XX 番目のゴール」は「Universal Goal」と表現してもよいかもしれません。

この新しいゴール「調和のとれた宇宙をみんなで」には、かけがえのない地球という惑星の課題を、宇宙との関わりというスケールで捉え、宇宙開発、宇宙と地球の関係性、宇宙を利用する国家間の関係性などが、持続可能なものとなるようにとの願いが込められています。

「調和のとれた宇宙をみんなで」のアイコンも制作！

生徒たちは、“新しいゴール”「調和のとれた宇宙をみんなで」の提案に合わせ、SDGs にあるようなアイコンの制作にも臨みました。

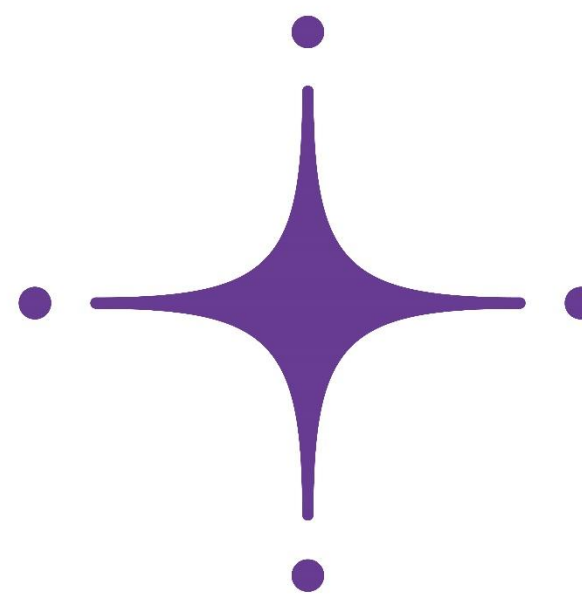
SDGs のゴールアイコンを手掛けたデザイナー、ヤーコブ＝トロールバック氏のインタビュー記事などを参考にしつつ、自分たちが何を発信しアイコンを見た人に何を伝えたいのか、どうコミュニケーションを取りたいのかを意識し、広告デザイン会社の担当者を交えながらおよそ1か月かけて完成したアイコンです。英語版(HARMONIZE SPACE)も考案し、同時にそれぞれのカラー反転バージョンも制作しました。

■「調和のとれた宇宙をみんなで」と同アイコンデザインの発表は、国連「世界宇宙週間」に合わせてホームページで行いました。

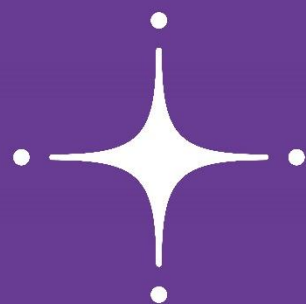
XX 調和のとれた宇宙を
みんなで



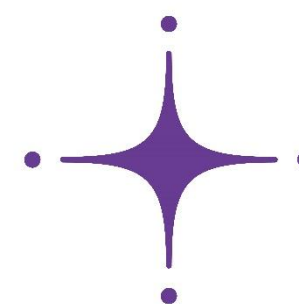
XX 調和のとれた宇宙を
みんなで



XX HARMONIZE
SPACE



XX HARMONIZE
SPACE



※このアイコンは、光ヶ丘女子高等学校の生徒たちが「持続可能な宇宙開発・宇宙利用」について探究する教育活動のなかで考案して提案したものです。そのため、国際連合および国連機関による公式なアイコンではありません。

「宇宙プロジェクト」 × SDGs Prism の例

4 質の高い教育を
みんなに



宇宙に関する最新の動向をふくめた質の高い教育を

10 人や国の不平等
をなくそう



女子高校生に政治・経済・社会に参画する力を

16 平和と公正を
すべての人に



宇宙空間の公正な開発と平和的な利用を

17 パートナーシップで
目標を達成しよう



さまざまなステークホルダーが協力して地球の未来のために

2 飢餓を
ゼロに



6 安全な水とトイレ
を世界中に



13 気候変動に
具体的な対策を



14 海の豊かさを
守ろう



15 陸の豊かさも
守ろう



地球環境の見守りを宇宙から

3 すべての人に
健康と福祉を



7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



8 働きがいも
経済成長も



9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



12 つくる責任
つかう責任



人と街の見守りを宇宙から